

松山市議会議員通信

やまがら

2018年
夏号
No.31

松山市議会議員（3期目）
梶原ときよし



やまがら（山雀）

毎年、冬には自宅に来てくれます。

一人ひとりが大切にされる 人間尊重社会を実現しよう。

- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、多くの若者を安定雇用につなげよう。
- 教育と子育て支援予算の増額と、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換しよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する町にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーの転換を促進しよう。（PPS電力の利用促進）
- 命、人権、環境、平和を大切に、子どもたちに安心未来を引き継ごう。



発行・梶原ときよし

ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。
4月の松山市議会議員選挙におきまして3期目の質問登壇のお許しを頂き、議員になって以来、33議会連続でこの場に立つことができました。
市民の皆様のご支援に心からの感謝を申し上げますとともに、私は市政二元代表制の一翼を担う議員としてこれからの4年間も市民の立場に立って本市の税金の無駄遣いを止めさせること、あるいは、カラ出張をさせないことを含め、野志市長のお友達政治や自分に都合な議員の質問を勝手に削除させるという暴挙、さらには、子どもの医療費無料化の全会一致の議会決議を無視するという市長の暴走を、二度とさせないよう、しっかりと厳しく市政チェックをしていくことを宣言して、質問に入ります。

（2面へつづく）

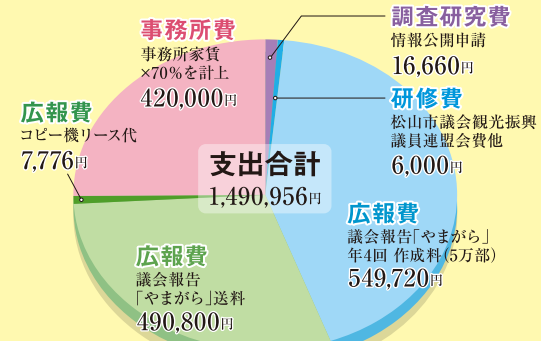
2018年6月議会一般質問
松山市議会議員 梶原ときよし

2018年
6月27日

酷暑の折お見舞い申し上げます。
7月の豪雨災害で犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表します。
また、被災されたみなさまには心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く普段の生活に戻れますようお祈りします。

2017年度 政務活動費支出報告

（2017年4月～2018年3月まで）



収入合計 1,490,956円
（政務活動費 1,224,002円
報酬より 266,954円）

政務活動支出報告について
2017年度の政務活動費につきまして、松山市議会政務活動費の交付に関する規則第6条に基づき上記の通り市長に報告を行いました。



4月の松山市議選では、3325票のご支持をいただき3度目（34位/43人）の当選をすることができました。
みなさまのご支援に心からの感謝を申し上げます。



6月28日付愛媛新聞で梶原の質問が取り上げられました。

環境部長の答弁
事故当日、コスモ松山石油から極微量のアスベストを含む保温材が、強風でプラント頭頂部から剥がれ、敷地内に落下したとの一報がありました。
その一報を受け、工場内を確認中、周辺を調査していた同社から、敷地外で少量の保温材の破片を発見したとの報告がありました。
幸いにも、剥がれた保温材約18ℓに対し、敷地外へ達した保温材の破片は、約0.1ℓと微量で、範囲が限定的であったことから、速やかに回収できました。早期（翌3月2日）に保温材の回収を終え、大気中に飛散するおそれなくなったことから、マスコミを通じて、広く市民にお知らせすべき状況にまでは至っていないと判断しました。

HPでは梶原の活動予定や 全定例議会での質問登壇が 動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。
ご連絡ください。

ホーム
ページ

梶原ときよし 公式ホームページ

検索

梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259
携帯 080-5669-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

- 午後1時～午後5時まで（月～木）
- 金・土・日・祝日はお休みです。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



コスモ松山石油株式会社松山工場におけるアスベスト含有 保温材飛散事故発生後の本市の対応について

本年3月1日未明から朝方にかけて、コスモ松山石油株式会社松山工場で高さ30メートルの放散塔頭頂部周辺のアスベスト含有保温材が解体作業途中に西南西の強風にあおられ飛散するという事故がありました。
朝方、コスモ松山石油株式会社は、会社の敷地内だけでなく県道を挟み東側の住宅地まで保温材の欠片が飛散しているのを確認し午前9時半ごろに本市環境指導課に電話連絡を入れた。
環境指導課は、11頃には現場を確認し、アスベスト濃度測定を会社側に指示したが、アスベスト飛散の環境測定結果が出た翌日3月2日の夕方までの間、近くの学校には電話を入れたようだが、周辺地域住民やその周辺を通行する市民を含め、全市民にその危険性を十分に知らせることをしなかったことは

大問題である。
①野志市長は、なぜ事故を緊急でマスコミ発表をしなかったのか。
②また当日は、最大で風速20メートル、平均でも風速10メートルの西南西の風が吹いており、高さ30メートルという放散塔からのアスベスト飛散を考えれば市内東方向全域に拡散されることが容易に予想され、仮に濃度が高かったら、大事故から大事件になった可能性さえあり得た。
伊方原発を60キロの位置に抱える本市の市長として、危機管理意識の貧困さを露呈したとしか言いようがない。
本市の対応で市民の安心と安全が損なわれる事態が二度と起こらないように意識的思考の具体策を示せ。

梶原ときよし
6月議会一般質問より抜粋

議会質問

2018年
6月27日



本市の受動喫煙対策の現状と野放し状態にある「職員勤務中の喫煙容認」による、健康ロスと経済ロスについて

梶原議員

2017年度松山市健康増進計画中間評価によれば、本市市民の喫煙率は男性22.0%、女性7.7%、全体で14.2%となっています。これは国民の喫煙率男性30.2%、女性8.2%、全体18.3%と比べ喫煙者が大きく減少しており、本市健康づくり推進課の喫煙対策及び、受動喫煙対策が進んでいることの現れであり評価できる。

しかしながら、本市職員の喫煙率を見ると、男性34.6%、女性5.5%、全体で28.2%と非常に高くなっており、特に男性職員の3人に1人は喫煙を習慣化しているという、大変残念な現状にあります。そこで質問ですが、
1、本市職員の禁煙が進んでいない現状を市長はどう考えているのか。
2、どうすれば、喫煙と受動喫煙の害から、市民及びとりわけ庁舎内で働く職員の健康を守ることができるのか。
3、また、現状の建物内禁煙では受動喫煙を完全に防ぐことはできず、職員喫煙所の撤去と本市全施設の敷地内全面禁煙を実施

するべきと考えますが、市長の決意を聞かせてください。

総務部長の答弁

40歳以上の本市職員を対象に集計した平成28年度の禁煙率は28.2%ですが、先日集計を終えた平成29年度の喫煙率は27.4%となり、減少しています。

したがって、本市職員の禁煙は進んでいるものと考えています。

次に、本市では、平成26年4月から、建物内禁煙を実施しており、相応の受動喫煙対策はとれているものと認識しています。

現在のところ喫煙所の撤去や、全施設の敷地内禁煙を実施することは考えていません。

梶原議員

国立がん研究センターによれば、喫煙習慣が様々ながんリスクを高めるとしており、がんによる死亡のうち男性の40%、女性の5%は喫煙が原因と考えられている。また受動喫煙もがん発症

発症リスクは確実に上昇すると発表しているにもかかわらず、本市は職員勤務中の喫煙を禁止していない。市民と職員の医療費増大の健康ロスと人材ロスを最小限に食い止めるためにも勤務中の禁煙を徹底するべきだと思いますが、どうか。

総務部長の答弁

勤務中の喫煙につきましては、業務の区切り等での気分転換を目的とした行為の一つと考えています。そのため、現時点では喫煙を規制することは考えていません。

梶原議員

野志市長が勤務中喫煙を容認し、野放し状態にある職員の自由勝手な喫煙休憩（事実上のサボタージュ）による経済ロスほどのくらいあるのか？

サボタージュする職員の人数と1日1人当たりの平均喫煙休憩回数と平均時間はどのくらいこれを男性職員の残業代に換算したら、年間どのくらい人件費として無駄に支払っていることになるのか所見を求めます。

総務部長の答弁

まず、勤務中の喫煙自体を、サボタージュであるとは考えていませんし、次に、勤務時間中に喫煙する職員の人数と1日1人当たりの平均喫煙休憩回数及び平均時間につきましては、把握しておりません。

最後に、人件費につきましては、職員の喫煙は、業務の区切り等での気分転換を目的とした行為の一つと考えていることから、無駄な人件費はありません。

さらには廿日市市への事前案内依頼が何日も前からあったということから見ても、明らかにカラ出張、観光だったとしか言いようがない。

これが「仕事でした」で通るなら税金使い放題の何でも有です。市長は、何事も隠さず、すべての膿を出すべきではないか。

産業経済部長の答弁

宮島の訪問は「旅行商品化促進事業に伴う業務」としての出張目的に適合する必要なもので、「カラ出張」などには該当しません。

ただし、当初の予定を一部、急きよ変更して宮島を視察したにもかかわらず、その報告を怠っていたことにつきましては、今後適正な事務執行の徹底に努めてまいります。

（4面へつづく）

※禁煙協力店のシール



市民の消費行動で受動喫煙被害をなくそう！

梶原議員

本市職員の喫煙休憩にまで報酬を払っている現状を改め、2億円以上の税金の無駄遣いを、即刻やめるべきではないか。

総務部長の答弁

勤務中の喫煙を規制しておりませんので無駄な人件費はありません。

梶原議員

勤務評定と人事評価に現場での非喫煙を盛り込むことで、本市職員の喫煙率を大幅に下げることができると思うが、取り入れる気はないか。

総務部長の答弁

職場での非喫煙を人事評価に盛り込むことは適切ではなく、取り入れる予定はありません。

野志市長がもみ消しに躍起となっている産業経済部カラ出張事件の捏造答弁について

梶原議員

2011年11月12日、当時産経部の男女二人の職員が広島へ出張した件については、出張申請の内容と、その出張報告が実際の出張内容とは異なり、予定していなかった宮島に行っていた事実を野志市長は、昨年9月議会と12月議会では否定してきたが今年の3月議会になって、私から二人が宮島で遊んでいる写真の存在を知らせたらやつのことと宮島行きを認めたが、今度は「仕事で行った」と開き直りの答弁をしたことについて他、関連を聞きます。

12月議会では「出張報告書どおり」で、つまり会議以外には行っていないと答弁して来たのに、3月議会では「急遽廿日市市の観光担当事務局と調整が取れ、宮島水族館を視察することになった」と宮島行きを認めたが本市職員の言う「急遽」とはいつの話か。

産業経済部長の答弁

宮島水族館への視察については、当時の廿日市市役所の担当者と携帯電話で、前日の夜から連絡を取り、当日、広島港に到着した時には視察の了解を得ていたとのことでした。

梶原議員

私の廿日市市職員への直接訪問聞き取り調査では、同職員は何年も前の話だから、はっきりとは覚えてはいないと前置きしながらも、「宮島水族館を案内する何日も前に、松山市役所から宮島水族館の視察と案内依頼の連絡があった」と答えた。また、男女二人別々の出張事前申請にも事後報告にも「宮島視察」は存在せず「広島での会議出席」しか無かった事実や、高速艇を利用したにもかかわらず宮島への旅費精算もなかったこと、



改選後初の6月議会も一般質問で登壇しました。
松山定例市議会(年4回)に9年日も、全議会(33議会)連続登壇を続けています。